

まいもん寿司 大阪、東京に新店 すし食いねえ! 金沢に来春開業

回転ずし 出店攻勢

石川県の回転ずし店が出店攻勢を加速させている。「金沢まいもん寿司」を展開するエムアンドケイ（金沢市）は来年5月、大阪府吹田市で新店を開業するほか、来年度中に東京都内での出店を計画する。飲食店経営のドマックスホールディングス（白山市）は来春、金沢市寺地2丁目に「すし食いねえ!」をオープンする予定で、店舗網拡大によって集客力向上を狙う。

エムアンドケイが大阪府吹田市に出店する回転ずし店は、JR西日本グループが「駅ソト」の商業施設として初めて開発するオープンモール型のショッピングセンター内に立地する。JR吹田駅から徒歩5分で、約80席を用意する。関西への出店は初めてとなる。

都内の店舗は大手町のビル一角に設ける方向で調整している。すしを回転させないタイプの店で、首都圏では6店目となる。首都圏の店の売り上げは、北陸新幹線開業で金沢への関心が高まっていることもあり、今年度に入って前年を上回っているという。木下孝治社長は「国内は人口減少が

店舗網拡大で集客力向上

まいもん寿司が出店する大阪府吹田市のショッピングセンターのイメージ

進んでいる。人が減らないような都心部を中心に出店を探りたい」と話す。

金沢市寺地2丁目由来年

3月に開業する「すし食いねえ!」は敷地面積約3036平方メートル（920坪）で、1階のホールと厨房の広さが約462平方メートル（140坪）となる。約130席の大型店で、水見、金沢両港から直接、魚を仕入れ、新鮮なネタを提供する。

「海天すし」を運営するビジョンワールド（金沢市）

は今年20日、野々市市で野々市押越店をプレオープンした。12月1日に本格オープンする。

収容客数は約120人で、大きさや形状の異なる食器を運ぶことができる自動配膳レーンを使い、すしや空揚げなどの注文品を直接、客席に届ける。周辺には他の回転ずし店もあり、競争は激しいが、大人気の宴会に利用してもらうなど新たな楽しみ方を提案し、集客を図る。

